

Mihara Memorial Hospital

ひろせの風

vol.5

夏号

発行月 令和4年7月
発行責任者 院長

リハビリテーション部
副部長代行 言語聴覚士
腰塚 洋介

リハビリテーション科
科長 脳神経外科医
富田 庸介

— 夏号のテーマ —

- 私たちリハビリテーション(リハビリ)スタッフは
患者さんの『自分らしく豊かな生活』を支援します
- 当院は神経難病を患い在宅療養中の患者さんと
そのご家族を支援します

無料Wi-Fi

病院内で
使用できます



公益財団法人 脳血管研究所
美原記念病院
Mihara Memorial Hospital



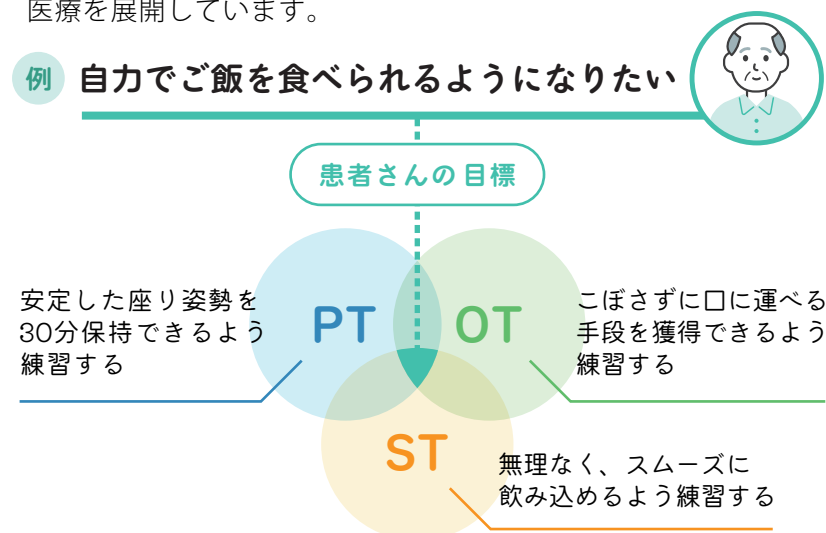
私たちリハビリテーション(リハビリ)スタッフは 患者さんの『自分らしく豊かな生活』を支援します

当院のリハビリ 3 つの特長

1. 密なチーム医療を展開

一人ひとりの患者さんに対し、医師、看護師、管理栄養士などの多職種が連携して行うチーム医療はもちろん、**理学療法士(PT)**、**作業療法士(OT)**、**言語聴覚士(ST)**の各リハビリスタッフが患者さんの目標を共有、連携し、3職種による密なチーム医療を展開しています。

例 自力でご飯を食べられるようになりたい



2. 専門的な研究とデータ管理を徹底

私たちは治療効果を確認、向上させるために、リハビリ治療に関するデータ管理を徹底しています。これにより治療の有効性について根拠を示すことができ、次の治療にも活かれます。得られた結果は、当院だけに留めず、広く発信することが日本のリハビリ医療を進歩させていくことにも繋がります。

3. 国にとって有益な治療とは何かを追究

患者さんへの適切な入院リハビリ期間を考慮することで、在院日数の短縮、早期在宅復帰(社会復帰)に繋がります。我々が治療だけに目を向けるのではなく、適切な医療のあり方を追究することは、医療・介護の人手不足の解消や医療費の削減にも繋がります。医療費が国の財政すなわち国民の税金を圧迫し、適切な医療・介護が受けられないなどの事態に陥らないためにも、国や国民全体にも配慮した「医療のあり方」とは何かを常に検討し、学会発表などで国への提言も行っています。

1日3時間! 365日!
早期から充実したリハビリ

患者さんの願いや生活スタイルは千差万別です。私たちリハビリスタッフは『機能回復』はもちろん『自分らしく豊かな生活』を送ることができるようお一人おひとりにあったリハビリを提供します。

医学的根拠に基づいた質の高いリハビリ



立つ・歩くことにこだわる

理学療法士(PT)

急性期病棟リハビリテーション課
課長代行 藤田 知美

45名

理学療法士(PT)は、**生活の中で行える活動の可能性を広げていくための身体的基礎を作るよう支援**しています。具体的には、発症早期から寝たきりの状態を作らず、立ち座り練習や免荷歩行器等を使用した歩行練習を積極的に行い、本人の活動性を高めています。「立つ・歩く」ことに**こだわり**、支えや動きを補うための装具の作成や調整、お一人おひとりに合わせた歩行補助具を丁寧に検討します。



多岐にわたる患者さんのニーズにこたえる

作業療法士(OT)

5階病棟リハビリテーション課
課長 石森 卓矢

37名

作業療法士(OT)は、患者さんの**生活が充実したものとなるよう支援**しています。そのため、食事やトイレ動作などといった、誰もが行う日常動作の練習のみならず、退院後の楽しみとなるような畑作業の練習や、群馬県民にとってニーズの高い自動車運転支援、仕事に復帰するための就労支援等、**多岐にわたる患者さんのニーズにこたえられるよう努めています**。また、最近では最新のロボット療法や電気治療などの機器を用いた上肢機能練習も並行して提供しています。



口から直接食べることにこだわる

言語聴覚士(ST)

リハビリテーション部
副部長代行 腰塚 洋介

13名

言語聴覚士(ST)は、**生きるうえで必要不可欠な「口から食べること」にこだわって支援**します。食事は栄養摂取手段だけでなく、生活リズムの構築や楽しみなどといった役割もあります。STは医師、看護師、管理栄養士等と協働し、発症早期から飲み込みの評価を行います。患者さんに合わせ、料理をミキサーにかけたり刻んだり、細かく食形態を調整し、**口から直接食べられるよう支援**します。また、STは言語機能に障害を負った方も支援しています。「話す」「聞く」等の練習にと**どまらず、これに代わるコミュニケーション方法も確立**し、人と人とが繋がりをもてるよう努めています。

免荷歩行器を使用した歩行練習



▲患者さんに合わせた装具の調整 ▲免荷式歩行器

患者さんのニーズに合わせた練習



▲ドライビングシミュレーターによる評価・練習

上肢機能練習



患者さんの状態に合わせた食事の練習



▲文字パネルを使用したコミュニケーション

当院は神経難病を患い在宅療養中の患者さんとそのご家族を支援します

神経難病については
こちら▶



神経難病とは、発病のメカニズムが明らかになっていないまれな疾患で、根本的な治療方法は確立されていません。脳神経が徐々に侵され、次第に日常生活動作を行うことが難しくなり、療養が必要になります。高齢化が進むにつれ、パーキンソン病や筋萎縮性側索硬化症などの神経難病の患者数も増加しています。当院は神経難病患者さんの専門病棟を設立して以来、一貫して地域の関連施設とも連携を図り、患者さんとそのご家族を支援しています。

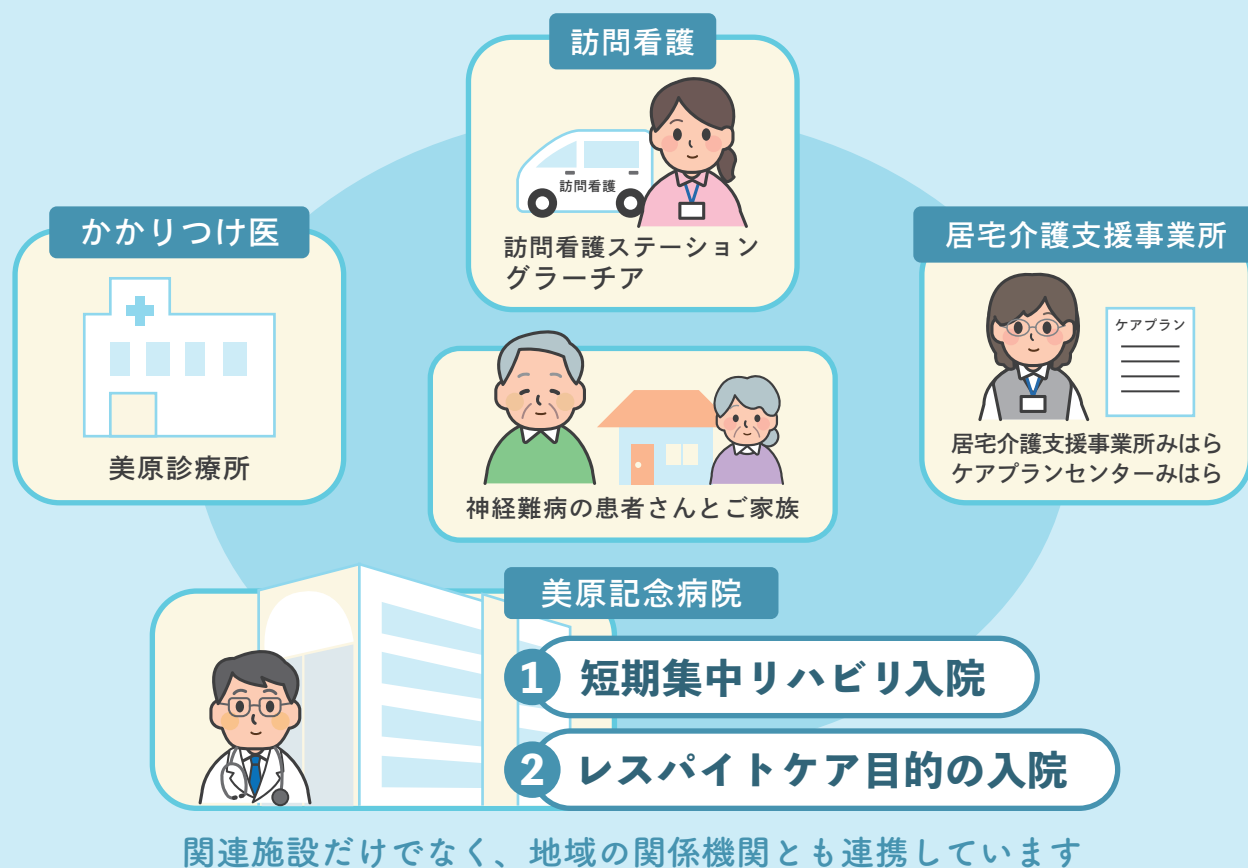
代表的な神経難病

- * パーキンソン病
- * 筋萎縮性側索硬化症
- * 脊髄小脳変性症
- * 多系統萎縮症
- * プリオン病 など



神経難病
リハビリテーション課
課長 菊地 豊

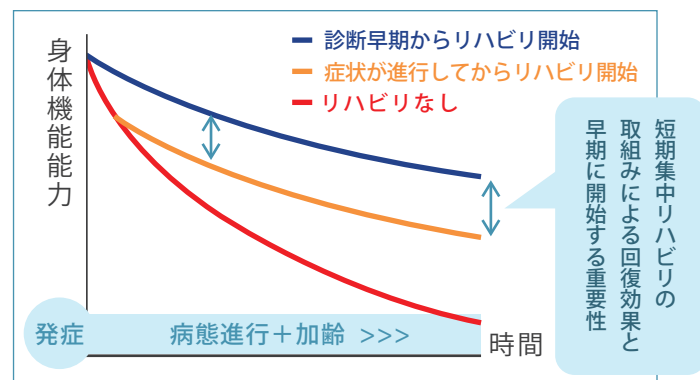
当院と関連施設が連携し支援体制を構築しています



北関東エリアで当院のみ

1 短期集中リハビリ入院

1ヵ月間程度の集中リハビリを行い、病状により低下した心身機能の改善を図り、退院後も**外来リハビリ**によるアフターフォローを実施します。



2 レスパイトケア目的の入院

レスパイトとは、「休息・息抜き」という意味です。介護は長期にわたることが多く、患者さんが在宅療養生活を継続していくためには、ご家族のサポートがとても重要な鍵となります。しかし介護者であるご家族も毎日の介護により、気付かないうちに身体的・精神的に疲労が蓄積されます。その疲れをできる限りためず、安心して休息できるよう、私たちが患者さんをお預かりします。

脳神経内科専門医による適切な診断と専門治療

脳神経内科医が集まり、患者さんの症状について画像などの診療記録を確認しながら治療方針を検討します。



▲ 定例の脳神経内科カンファレンス

特定行為看護師、認定看護師、専門看護師、難病看護師などによるケア

特定の看護分野における専門知識と熟練した技術を持つ看護師が多く配置され、神経難病に特化した質の高い看護を提供しています。



▲ 特定行為看護師による気管切開カニューレ交換

退院時のアンケートによる患者さんご家族の

声

わがままな夫のためにいつも優しく対応していただき感謝しかありません。

リハビリ入院をして帰ってくると、目に見えて本人の動きの効果が違います。ありがとうございます。

私もしっかりと休むことができ、新しい気持ちで介護にあたることができました。

神経難病患者さんとそのご家族へ - 温かみのある医療サービスを提供します -

私たちは、神経難病の患者さんやご家族に「安心」「希望」「生きがい」を持ち続けて欲しいと願っています。そのため患者さんやご家族と、理想のケアについて一緒に考える「ACP(人生会議)」に取り組んでいます。患者さんが自分らしく生きるために何ができるか、患者さんの意思を尊重し、ご家族と相談しながら診療・看護・リハビリを行います。

● 特定医療費(指定難病)制度をご存じですか?

詳しくは

指定難病は、治療法が確立されておらず医療費も高額になります。そのため患者さんの医療費の負担軽減を目的として、一定の認定基準を満たす指定難病の場合、医療費の一部が助成されることがあります。

ご相談はこちらまで

美原記念病院 連携室

☎ 0270-27-8810

✉ mmh-msw@mihara-ibbv.jp

神経難病の患者さんの“その人らしく”を実現するために
効果的なリハビリを追究し続ける

私の仕事について

理学療法士として、入職時から神経難病リハビリテーション(リハビリ)課に所属しています。この病棟には、主に筋萎縮性側索硬化症(ALS)、パーキンソン病や脊髄小脳変性症などの神経難病患者さんが入院されており、その方々に対しリハビリを行っています。患者さんへは、在宅生活を継続いただくことを目標に、お一人おひとりの病状の進行により低下した座る・立つ・歩くなどの基本動作能力の回復や維持に努め、集中的にリハビリを行います。

患者さんにリハビリを行っていく中で、姿勢の維持や運動を円滑にする小脳の機能に関心をもちました。現在は、磁気刺激で生じる脳けいとうがいじきの反応をみる経頭蓋磁気刺激を用いた小脳機能評価の研究に取り組んでいます。

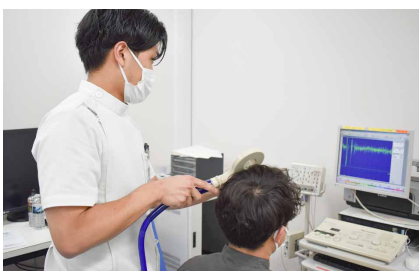
業務を行ううえで大切にしていること

理学療法士として、患者さんお一人おひとりに対し、必要なリハビリは何かを考え治療計画を立てるよう心がけています。同じ疾患であっても、患者さんごとに症状

神経難病
リハビリテーション課

清水 裕斗

趣味：筋トレ・野球・
コーヒー



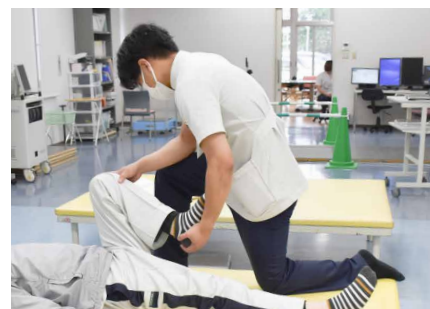
▲ 経頭蓋磁気刺激療法の研究

や障害の程度、抱えている苦悩や苦痛は異なりますし、リハビリを行うきっかけやめざす目標もさまざまです。このように患者さんの個別性に応じた理学療法が提供できるよう、そして一人でも多くの患者さんの回復に繋がるよう、知識の向上と技術の研鑽に日々力を注いでいます。

皆さまへ

三次元動作解析装置による歩行分析や、脳画像解析、また神経生

理的評価と呼ばれる脳機能評価を駆使して、患者さんの運動障害を詳細に把握し、回復に向け検討を行い、患者さんへ効果的なリハビリを行っています。並行して、リアルタイム重心フィードバック装置を使用したバランス練習やロボット治療など最新の機器を用いたリハビリも行っています。当院のリハビリについてのご質問や、入院によるリハビリの希望がありましたら、ぜひスタッフにお気軽に声をかけください。



▲ リハビリの様子

Q1. 患者さんと接する時に意識されていることは？

Q2. 先生の『モットー』は？

Q3. 地域の皆さんへメッセージを！

地域に愛される「かかりつけ医」
訪問診療・往診応需



院長
佐藤 浩二 先生

生年月日：1969年3月
出身地：群馬県前橋市
出身校：群馬大学医学部
趣味：読書、ゴルフ

さとう内科クリニック

診療科目

●呼吸器内科 ●循環器内科 ●内科

Q1.

今は感染対策が第一ですね。マスク越しの診察となってしまいますが、一日でも早く患者さんと直接「顔の見える形」での対話ができることを願っています。

Q2.

『患者さんと共に生き方を考えます』これは当院の理念です。開業する前の勤務医時代に、緩和ケアのチームリーダーをしていた経験から、治らない病気で苦しむ患者さんに寄り添う医療を継続していきたいと考えています。

Q3.

美原記念病院さんと協力し、伊勢崎市民病院初期研修医を受け入れています。研修医には訪問診療に同行してもらっています。地域全体で医療体制を維持できるよう皆さまにもご協力いただきたく、よろしくお願いいたします。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	—
15:00～18:00	○	○	—	○	○	—	—

<休診日>

■水曜午後
■土曜午後
■日曜 ■祝日

時間外の往診・訪問診療は随時受付けております

お問合せ先

■住所：〒372-0005 群馬県伊勢崎市乾町233-1 ■TEL：0270-61-8139
■URL：http://sato-clinic.byoinnavi.jp/pc/

地域に欠かせない「かかりつけ医」
スポーツ整形・肩関節外来



院長
荒牧 雅之 先生

生年月日：1964年3月
出身地：群馬県太田市新田
出身校：富山大学医学部
趣味：絵画鑑賞、ゴルフ

あらまき整形外科クリニック

診療科目

●整形外科 ●リウマチ科
●リハビリテーション科

Q1.

確実な診療と、患者さんの思いに則し、安全にまた安心してご受診いただけることを心がけています。

Q2.

『常に誠意をもって謙虚であれ』全ての患者さんと対等な立場で、患者さんの言葉に耳を傾けることが大切だと思っています。このことが安心して受診いただけることに繋がるからです。そのために患者さんが話しやすい環境を作ることも忘れないよう心がけています。

Q3.

皆さんに安心し、信頼して受診いただける「地域に欠かせないかかりつけ医」となるよう、医師として日々研鑽しています。不安なことや辛い痛みがあれば我慢せずに、お早目に受診してください。

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	—
14:30～18:30	○	○	—	○	○	—	—

<休診日>

■水曜午後
■土曜14:00以降
■日曜 ■祝日

土曜日は 9:00～14:00 まで

お問合せ先

■住所：〒379-2234 群馬県伊勢崎市東小保方町3858-8 ■TEL：0270-63-5522
■URL：https://website2.infomity.net/8440000067/

美原記念病院 常勤医師の紹介

(令和4年7月1日現在)

脳神経内科



院長
美原 盤 ミハラ バン

日本内科学会認定医、日本神経学会指導医、日本脳卒中学会専門医、日本頭痛学会専門医・指導医



部長
古井 啓 フルイ ケイ

日本内科学会認定医、日本神経学会専門医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、麻酔科標榜医



認知症疾患医療センター センター長
針谷 康夫 ハリガヤ ヤスオ

日本内科学会認定医・指導医・総合内科専門医、日本神経学会専門医・指導医、日本脳卒中学会専門医、日本認知症学会専門医・指導医、日本老年医学会専門医



認知症疾患医療センター 副センター長
金井 光康 カナイ ミツヤス

認知症サポート医



高橋 秀輔 タカハシ シュウスケ

日本神経学会専攻医

脳卒中科



部長
木幡 一磨 コワタ カズマ

日本脳神経外科学会専門医・指導医、日本脳卒中学会専門医・指導医、日本脳神経血管内治療学会専門医、日本神経内視鏡学会技術認定医



科長
堀越 知 ホリコシ トモ

日本脳神経外科学会専門医、日本脳卒中学会専門医

脳神経外科



副院長 部長
赤路 和則 アカジ カズノリ

日本脳神経外科学会専門医・指導医、日本脳卒中学会専門医・指導医、日本脳卒中の外科学会技術指導医、日本頭痛学会専門医、日本脳神経血管内治療学会指導医、日本認知症学会専門医・指導医、認定インфекションコントロールドクター



吉田 啓佑 ヨシダ ケイスケ

日本脳神経外科学会専門医、日本脳神経血管内治療学会専門医

リハビリテーション科



科長
富田 庸介 トミタ ヨウスケ

日本脳神経外科学会専門医、日本脳神経血管内治療学会専門医

循環器内科



部長
江熊 広海 エグマ ヒロミ

認定インフェクションコントロールドクター

内科



科長
樋口 清一 ヒグチ セイイチ

日本内科学会認定医・総合内科専門医、日本呼吸器学会専門医・指導医、日本アレルギー専門医、認定インフェクションコントロールドクター

お問合せ先

公益財団法人 脳血管研究所 美原記念病院

〒372-0006

群馬県伊勢崎市太田町366

TEL : 0270-24-3355 FAX : 0270-24-3359

WEB : <https://mihara-ibbv.jp/hp/>

E-mail : mihara-hosp@mihara-ibbv.jp

